



# 第45号

## 今号の主な内容

- 市民懇談会 / かつこうのさえずり……①
- 一般質問……②～③
- 議決一覧 / 今後の予定……④

令和4年8月1日  
発行責任者：滝沢市議会議長  
編集：広報常任委員会

## 岩手西北医師会との市民懇談会を開催



### テーマ 市の医療体制の構築について

【環境厚生常任委員会】

日時 令和4年6月8日(水) 19時～ 場所 滝沢市役所 中会議室

岩手西北医師会の皆さんと「市の医療体制の構築について」をテーマに市民懇談会を実施しました。

民の健康づくりに向けた取り組み状況等についてお話を伺いました。

懇談会では、市の医療体制における課題や市

今後も、市民の皆さんと継続的に意見交換を重ねていきます。



懇談会の様子



## 所管事務調査報告

### 環境厚生常任委員会



調査事項：地域包括支援センターの運用について

#### 【調査理由・目的】

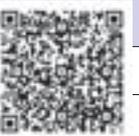
高齢化社会において身近で頼りになる「地域包括支援センター」について、今後の中部・南部圏域の委託に向け、委託先との連携やセンターの運用等を調査研究するもの。

#### 【まとめ】

既に民間に委託した北部圏域において、市民（民生児童員）からは相談や介護認定申請等が迅速かつ丁寧に履行されていると「高評価」を受けている。今後、中部・南部圏域の委託に対し、以下の配慮が必要と考える。

- ① 入札方式▶北部圏域の入札はプロポーザル方式が採用されたが、コロナの拡大に伴い、想定外出費が多くあった。突発的経費に対し、迅速かつ適切に前金払いや精算払いが可能な支払い方式を加味した入札契約方式を検討すべき。また、当圏域は、人的資源確保に苦勞していたことから、委託者、受託者協働で人的資源を確保する手法提案も含めた入札方式を考慮するべき。
- ② 事前検討▶担当自治会数やニーズが北部圏域とは異なるため、委託前に地域住民から意見聴取を行い、ランチの必要性も含めた事前検討を行うべき。

### 産業建設常任委員会



調査事項：観光、物産振興とふるさと納税の有利性について

#### 【調査理由・目的】

本市の観光振興、物産振興の各種事業の展開とPRが、ふるさと納税にとって有利性が十分にあるかどうかについて調査研究するもの。

#### 【まとめ】

県内自治体が年々ふるさと納税による寄附額を増やしている中で、本市は平成27年度を最高額に以降低迷している。改善策として以下の取り組みが必要と考える。

- ① P R 宣 伝▶返礼品選択に大きな影響を与える写真を良く見せるための工夫が必要。
- ② 返礼品の 開 発▶異業種交流を実施し、新商品開発のヒントを得る努力が必要。ターゲットを明確にした返礼品ラインナップを検討すべき。
- ③ 返礼品提供体制▶寄附が年末に集中するため、閑散期にも寄附してもらえよう期間限定の旬のものに力を入れるべき。人気の返礼品を年間を通して提供できるよう十分な取扱い量を確保すべき。
- ④ 強 み の 推 進▶地場産生鮮野菜の栽培やその加工品を開発するための特産品開発事業の強化。



## かつこうのさえずり No.2

市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。

## 活気のある滝沢市へ 中島 恒夫さん

### ◎私が最も伝えたいこと



#### プロフィール

- 北海道登別市出身
- 22歳 昇降機会社に勤める
- 25歳 転勤で盛岡市に移住
- 28歳 独立し、滝沢市に居を構える
- 一般社団法人滝沢市観光物産協会 初代会長
- 滝沢市ライオンズクラブ監事
- 滝沢市鶏飼工商振興会会長
- (前)滝沢市商工会監事
- 趣味は溪流釣り

#### (1) もっと観光・物産をPR

今年4月、「滝沢市観光協会」を法人化し、やっとの思いで「一般社団法人 滝沢市観光物産協会」を設立した。平成27年からふるさと納税の返礼事業を実施。そのほかにも、ネットショッピングを展開するなど、滝沢市の魅力を発信してきた。

今年3年ぶりの開催となった「チャグチャグ馬コ」では、多くの観光客の方に来ていただき、滝沢市もとても賑わった。

法人化により、物産イベントや観光事業の幅も広がったことから、今後、さらに新しい事業を展開し、協会はもちろん、滝

沢市にもより一層貢献したい。

#### (2) 企業誘致で“まちを活性化”

ここ数年で道路の整備が進み、アクセスが非常に良くなった。これらを活用して大きな企業を誘致できればと思っている。遊びに来てくれる方が増えるのはもちろん、企業が入ることで、そこから新しい雇用も生まれ、さらに活気あるまちになるだろう。これからも、滝沢市の活性化につながる事業に取り組んでいきたい。

## 3年度政務活動費報告 (R3.4～R4.3)

議員が調査研究等の活動を行う際に、必要な経費の一部として交付される費用をお知らせします。\*月額 15,000 円 / 人

所属(人数)	交付額	執行額	執行率	主な活動項目
滝政会(4)	720,000	13,200	1.83%	資料購入
滝沢市民クラブ(3)	540,000	0	0%	
一新会(2)	360,000	0	0%	
公明党(2)	360,000	45,943	12.76%	資料購入
新志会(2)	360,000	60,060	16.68%	資料購入
日本共産党(2)	360,000	75,180	20.88%	資料購入

所属	交付額	執行額	執行率	主な活動項目
奥津 一俊	180,000	0	0%	
菅野 福雄	180,000	0	0%	
佐藤 澄子	180,000	0	0%	
藤原 治	180,000	0	0%	
合計	3,420,000	194,383	5.68%	

## ～滝沢市議会基本条例をもとに 議会評価の見直し～

本議会では、3年度の議会活動を振り返り、市議会基本条例にある「開かれた議会」「市民とともに歩む議会」「行動する議会」の理念をベースに、評価基準を見直した上で協議、評価を実施しました。

今後は、この評価内容を十分に活かせるよう更に整理し、議会アドバイザーの助言や市民の意見等をいただきながら検討を進めていきます。

詳しくはこちら  
問い合わせは  
事務局まで





川口清之 議員

4年度の水田活用の  
支払交付金について



水田活用直接支払交付金の作物別の3年度実績は、  
○実績は、飼料作物が75ha、2680万円、麦が43ha、1820万円、大豆が18ha、3040万円です。  
○多年生牧草の場合、10アール当たり3万5千円が、1万円に減額される影響は、  
○4年度も同規模であれば、1863万円の減額と試算されます。

交付金がなければ耕作放棄地になってしまう可能性があるが、見直しについての見解は、  
○交付金の見直しは、農家の経営への影響や耕作放棄地の増加等の要因になることが想定されることから、岩手県市長会を通じ、国へ撤回の要望を継続します。  
○本市の4回目のワゾン接種の予定は、  
○対象者は、60歳以上の人、18歳以上60歳未満

で基礎疾患のある人および重症化リスクが高いと医師が認める人です。  
3回目接種開始から5か月後の7月1日から市内個別接種医療機関での接種を開始します。  
○高齢者施設の職員と介護施設の職員への4回目の接種は、  
○国の通知により要件に該当しない場合は接種ができません。



山谷仁 議員

労働者協同組合法  
施行について



今年10月に施行される労働者協同組合法を市民にどのように告知し、認識してもらい、地域の経済、雇用を生み出す取り組みの考えは、  
○この法律は、働く方が自ら組合員となり出資し、それぞれの意見を反映し組合事業が行われ、それが事業に従事することを基本原則とする労働者協同組合が、法制化されたものです。  
この法律の施行により、

市民の働き方の広がりや活動の多様化につながり、地域課題の解決につながる可能性もあるため、国の説明会等に参加し、制度を把握するとともに市広報等を通して市民に周知します。  
市としては、制度の活用を促すとともに組合との連携を検討します。  
○広域ごみ処理施設を目標としているが、建設の場所は報道されている

上川川周辺で決定か。  
○3年3月24日に開催された県央ブロックごみ処理広域化推進協議会において、県央ブロックの新たなごみ処理施設の整備予定地を「盛岡インターチェンジ付近」として選定しています。それ以降、整備予定地の変更はありません。

○マイナンバーカードについて  
○マイナンバーカード取得目標値、普及策は、  
○国の施策に合わせ、年度末にほぼすべての市民の取得を進めています。普及には利便性の向上が重要と捉えており、各種サービスを開始します。  
○普及促進のためのポイントの上乗せと高齢者へのサポートは、  
○治療と仕事の両立に関する相談窓口の紹介や労働相談の利用を案内します。  
○消防団のPRは、

○マイナンバーカードについて  
○車の配置について等  
○2つの少年消防クラブが防火広報活動を行っているほか、消防演習において防火演技を披露しています。大学祭でもPRを行う予定です。  
○すべての学校への車の配置および段差の解消は、  
○小中学校13校のうち7校に配置しており、必要な場合は速やかに配備します。段差は、大規模改修や更新の際に、施設の最適化を図ります。



奥津一俊 議員

水道管路の  
漏水防止対策について



本市の漏水率について、先進事例で示される2%程度を目標値とすべきでは、  
○他の水道事業者での先進的事例の分析、今年度の漏水率の見込みおよび漏水防止対策にかかる費用対効果等を助案し、検討します。  
○効率的にコスト削減も期待できる最新技術を取り込む検討は、  
○日本水道協会や他の水道事業者等を通じ、最

新技術の情報収集を行い、設計で想定される圧密沈下量に達した場合は軟弱地盤対策は完了したものと、その後は沈下を撤去したうえで、道路改良舗装工事へと移行します。  
○開発者との協議のなかで、先行して整備する道路への影響の有無を確認し、適切に指導を行います。  
○次期総合計画で検討すべき新たな産業は、  
○IPUインベシヨセンターなどの産業基盤を十分に活用しながらICT産業の活性化にも寄与するようデジタル化の推進を検討します。

設計で想定される圧密沈下量に達した場合は軟弱地盤対策は完了したものと、その後は沈下を撤去したうえで、道路改良舗装工事へと移行します。  
○開発者との協議のなかで、先行して整備する道路への影響の有無を確認し、適切に指導を行います。  
○次期総合計画で検討すべき新たな産業は、  
○IPUインベシヨセンターなどの産業基盤を十分に活用しながらICT産業の活性化にも寄与するようデジタル化の推進を検討します。

本市の市民の「盛岡広域成年後見センター」への本制度活用の相談件数の推移と、センターの人員体制や各自自治体との情報共有や連携は、  
○同センターは本市他4市町で2年4月から設置し運営しています。相談件数は2年度が53件、3年度が39件で、常勤4人と非常勤1人の5人体制です。運営主体の5市町が2回開催の運営委員会等で、センターの事

業計画や実施状況の確認、意見交換などの情報共有と連携を図っています。  
○親族等に行き来が無い高齢者等に、この制度を積極的につなげていく考えは、  
○滝沢市成年後見制度利用支援事業実施要綱に基づき、親族による審判請求が極めて困難な者に、市長による申し立てを行い、速やかに制度利用につなげます。  
○法定後見人と被後見

人の配偶者との問題が生じている事例が見受けられるが、本市での相談体制の整備は、  
○本市では制度利用の相談に応じており、成年後見センターや家庭裁判所を案内しています。  
○特別障害者手当への支給の可能性の周知は、  
○6月時点でHPを更新し、施設入所者のうち手当受給対象となる方を掲載しています。

○所信表明に基づく公約の実現と成果は、  
○素晴らしい滝沢をもつため、市政運営に努めてきました。  
主な成果は次の5点と  
一 私か最も実現したいと考えている「生きがい」や「やりがい」を通じて、市役所の業務を通じて「滝沢を知り、愛着を持って」ような機会を提供しました。  
二 「学生応援プロジェクト」を展開し、多くの学生の皆さまにインターンシップや学生アルバイトとして、市役所の業務を通じて「滝沢を知り、愛着を持って」ような機会を提供しました。  
三 IPUインベシヨ

○主簿市長の任期における  
総括について  
○パークへの企業誘致を  
○「健康づくり」に向けた新たな事業に取り組みました。  
○中心市街地形成に向け、中心拠点商業地区内の工事に着手しました。  
○4年度は、第1次滝沢市総合計画後期基本計画の最終年度です。公約を踏まえつつ、各施策の進捗状況を把握しながら、これからの取り組みをしっかりと進めていきます。



日向裕子 議員

森林環境税および  
ビッグルーフの指定管理者  
制度の検証について



森林環境税と税を  
○森林環境税と税を  
○元年度に森林管理に  
○この税の有効活用は、  
○滝沢総合公園ふれあいの森改修事業の木製品の設置や周辺の環境整備等の活用を検討します。  
○どのような形で市民に還元されるか。  
○地球温暖化防止、水源涵養、土砂災害防止等

の効果が期待でき、野生鳥獣被害の軽減やレクリエーション機能にも寄与できると考えます。  
○4年度からの検証は、  
○1月次報告書や「事業報告書」「決算報告書」等の継続的な確認に加え、指定管理者による外部評価の実施と第三者評価の導入を考えています。  
○ビッグルーフ滝沢の指定管理者制度の検証について、3年度までの5年数箇月の検証は、  
○来館者数や収支の状況、顧客満足度の状況で

施設の管理運営状況を把握しています。  
○4年度からの検証は、  
○1月次報告書や「事業報告書」「決算報告書」等の継続的な確認に加え、指定管理者による外部評価の実施と第三者評価の導入を考えています。  
○ビッグルーフ滝沢の指定管理者制度の検証について、3年度までの5年数箇月の検証は、  
○来館者数や収支の状況、顧客満足度の状況で

○当初の構想との相違点が発生した場合の対応策は、  
○民間開発者と協議し適切に指導します。  
○県の協力体制は、  
○主要地方道盛岡環状線等の周辺道路への影響は、  
○滝沢市中心市街地整備計画推進委員会」で周辺道路の拡幅等の整備が進められていることから渋滞解消できるものと考えます。問題が発生した場合は関係機関と協

○市内飲食店の取得率は約85%です。  
○いわての食応援プロジェクトへの協力体制は、  
○チケット利用店舗は28件で認証取得の約半数程度の参加率です。  
○販売店からの情報では消費者の関心度も高いものと考えられ、コロナの影響を受けた店舗の利用促進が図られると期待しています。事業の周知や参加手続き支援等の協力を実施します。

○次期市長選挙での公約と第2次滝沢市総合計画の関連性は、  
○次期総合計画の基本構想においては「ウェルビーイングの実現」を掲げ、約の「生きがい」や「やりがい」を通じて充実した人生を送ることができると考えています。  
○滝沢市をめぐります。  
○県市長会の要望活動の捉え方は、  
○東部地域における「地域と行政が連携し取り組む課題」の一つとして

○次期市長選挙での公約と第2次滝沢市総合計画の関連性は、  
○次期総合計画の基本構想においては「ウェルビーイングの実現」を掲げ、約の「生きがい」や「やりがい」を通じて充実した人生を送ることができると考えています。  
○滝沢市をめぐります。  
○県市長会の要望活動の捉え方は、  
○東部地域における「地域と行政が連携し取り組む課題」の一つとして

○次期市長選挙公約と  
政治スタンスについて  
○集会所の新設  
および改修整備計画について  
○滝沢市独自の要望活動の展開と県選出自民党国会議員との関わりは、  
○国に対し要望事項は数多くあり、県選出国会議員の皆様にもこれからもお力添えをお願いしていきます。  
○菓子地区からの要望がある集会所の整備計画は、  
○東部地域における「地域と行政が連携し取り組む課題」の一つとして

○子育て世帯臨時特別支援金給付事業」を実施し、負担軽減を図ります。  
○給食食材の高騰による教育、保育施設への支援策は、  
○食品等の高騰により献立や食材の一部を見直し、見直しを図ります。  
○3歳児健康診査で弱視の発見につながる屈折検査導入の考えは、  
○今年度、屈折検査機器を購入し、検査を実施します。



柳橋好子 議員

小若井駅改築について  
市の歴史と文化を学び、  
観光の拠点とするについて



毎日小学生79人、中学生40人が通学のために利用し、多数の高校生や住民が乗降している小若井駅の整備は、長い間の住民の願いである。  
住民説明会があったが、駅舎改築の進捗状況は、  
○JR東日本が、今年度中に設計業務に着手し、既存駅舎の改修工事は5年度の予定です。  
○雨や雪の時に小学生が待合室に入りきらな  
○この解消は、

駅舎内部の間仕切り位置の変更により十分な待合室確保が可能です。  
○エレベーター設置が無理ならば、せめて南口改札の設置は、  
○JRは南口改札は不要と判断しています。市としては、階段が急で不便なことは認識しており、北口への移動手段を多角的に検討します。  
○市には歴史と培われた文化があるが、それをパネルで説明し、写真や

映像で見られるなどの施設がない。歴史や文化に関する資料の収集・保存公開、学びの場が必要であり、それが観光の拠点となるのでは、  
○本市には、県指定史跡公園「湯沢沢環状列石」の埋蔵文化財センターがあり、縄文文化の体験ができる観光スポットです。  
○郷土史「滝沢市の歩み」のゆかりの場をめぐるなど、学びの場の創出に努

○2025年問題の団塊の世代が75歳以上となり、運転免許証返納者が大幅に増えるが、返納者への支援は、  
○他市町村の支援を参考に事業実施に向け財源確保を含め検討します。  
○企業・団体等に対する支援制度の要請は、  
○県内において200事業者が割引支援等を行っています。若手県業者では自主返納者の支援企業・団体等を募集して

○障がい者支援について  
○障がい者支援について  
○市も市内企業へ情報提供し、協力を求めます。  
○障がいのある方への合理的配慮は、  
○職員が障がい者に適切に対応するための対応要領を作成し全庁的に取り組みを行っています。  
○今年度は次期障がい者計画策定年度であり、会社等の事業者についても啓発を行います。  
○指定特定相談支援事業所や相談支援員の充足状況は、

○障がい者支援について  
○障がい者支援について  
○市も市内企業へ情報提供し、協力を求めます。  
○障がいのある方への合理的配慮は、  
○職員が障がい者に適切に対応するための対応要領を作成し全庁的に取り組みを行っています。  
○今年度は次期障がい者計画策定年度であり、会社等の事業者についても啓発を行います。  
○指定特定相談支援事業所や相談支援員の充足状況は、

○生活用品高騰による  
子育て世帯への支援策は、  
○児童手当受給者や住民税均等割が非課税の高校生等を養育する子育て世帯に対し「たきざわ

○生活用品高騰による  
子育て世帯への支援策は、  
○児童手当受給者や住民税均等割が非課税の高校生等を養育する子育て世帯に対し「たきざわ

○生活用品高騰による  
子育て世帯への支援策は、  
○児童手当受給者や住民税均等割が非課税の高校生等を養育する子育て世帯に対し「たきざわ

一般質問《6月会議》6月20日～22日に行いました。

令和4年5月会議(5月20日) 議案3件・発議1件を審議可決

★可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

Table with 2 columns: 議案番号, 内容. Includes 議案第1号 (4年度一般会計補正予算), 議案第2号 (職員給与), 議案第3号 (常勤特別職給与), 発議第1号 (議員報酬).

補正予算(第1号)《主な事業を抽出》

- 公園維持管理事業(ふれあいの森改修工事等) 46,000千円
● 学校給食施設改善事業(オープン4台購入費) 29,593千円
● 中学校校舎等補修事業(滝沢南中学校屋内運動場照明LED化工事) 6,765千円
● 体育館施設管理運営事業(滝沢勤労者体育センタートイレ洋式化工事) 2,750千円
● 葉の木沢山活動センター管理運営事業(便所改修工事) 2,607千円

令和4年6月会議(6月16日~24日) 議案4件・付託陳情1件・請願3件・発議2件を審議

★可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

Table with 2 columns: 議案番号, 内容. Includes 議案第1号 (4年度一般会計補正予算), 議案第2号 (4年度国民健康保険特別会計補正予算), 議案第3号 (4年度介護保険特別会計補正予算), 議案第4号 (地方活力向上), 請願第1号 (ゆたかな学びの実現), 発議第1号 (教職員定数の改善).

補正予算(第2号)《主な事業を抽出》

- たきざわ子育て世帯臨時特別支援金給付事業 246,727千円
● 臨時特別給付金支給事業(住民税非課税世帯) 208,001千円
● スマート農業からキツクしくみづくり事業 90,437千円
● 新型コロナウイルスワクチン接種事業 85,718千円
● 滝沢市地域経済循環支援補助事業 45,000千円
● 小学校便所改修事業(校舎・体育館トイレ改修, 8校) 38,000千円
● 生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯) 37,472千円
● 中学校便所改修事業(校舎・体育館トイレ改修, 4校) 17,300千円
● 交通政策推進事務(交通事業者支援金) 16,935千円

★否決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

Table with 2 columns: 付託陳情/請願/発議番号, 内容. Includes 付託陳情第1号 (総合福祉センター建設), 請願第2号 (安全・安心の医療), 請願第3号 (物価・原材料の高騰), 発議第2号 (安全・安心の医療).

★上記の内、賛否が分かれた議案

Large table showing voting results for various items. Columns include item name, member names (奥津一俊, 菅野福雄, etc.), and counts for赞成, 反対, 欠席.

★討論

Table with 3 columns: 付託陳情/請願/発議番号, 賛成意見, 反対意見. Details the arguments for and against the discussed items.

全国市議会議長会 表彰者紹介 [市議会議員15年以上在職者] 角掛議員 山谷議員

8~11月の予定 8月, 9月, 10月, 11月の日程表. Includes dates and activities like 議会運営委員会, 予算決算委員会, 議会.

議会に「おでんせ!」 傍聴者数 5月会議 1名(前年0名) 6月会議 39名(前年60名) 滝沢市議会ホームページ QRコード